

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇PVC News No.115号を発行

塩化ビニル環境対策協議会

## ■随想

◇知ってそうで知らないシロアリの話 ⑧

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

## ■編集後記

## ■トピックス

◇PVC News No.115号を発行

塩化ビニル環境対策協議会

塩化ビニル環境対策協議会（JPEC）は、4月14日に [PVC News No.115](#)号を発行しました。今号の特集は「環境・社会貢献と塩ビ」がテーマです。2年ぶりに開催された PVC Award 2021 では「生活を豊かにする PVC 製品」をテーマに、生活の利便性向上や、環境配慮・リサイクル・防災・安全など環境・社会に貢献する魅力ある製品が多く集まりました。今回は主な受賞作品に関して開発の経緯から製品化に至るまで苦労したことや工夫したことなどインタビューした記事を紹介しています。

特集インタビューの一つ目は、「水中機器用フロートケーブル」で準大賞を受賞した(株)三ツ星です。フロートケーブルの開発のきっかけは、水中で動作するプールのお掃除ロボットを使用する際に、沈んだケーブル同士が絡まって動作が妨げられる問題を解決したい顧客からのニーズです。同社は長年のノウハウから電線に発泡塩ビを被覆して浮かせる方法に着目し解決につなげたと話しています。

二つ目は、「リハビリ補助用具 Curaria」で準大賞を受賞した(株)ハイビックスです。空気で膨らむ製品の開発製造を得意とし、介護用品も多く製作してきた実績のある会社です。Curaria シリーズの開発に当たり素材や形状の研究だけでなく、理学療法士と共同して取り組んだことがリハビリ補助用具の品質設計に大きく役立ったことが紹介されています。



次に“リサイクルの現場”では、「レンブロック®キャンバス」で優秀賞を受賞した吉山プラスチック工業(株)と(株)照和樹脂を取材し、積み重ねてきた成形技術と塩ビコンパウンド技術の協働による成果について紹介しています。連想・連結・連携の意味を込めて名付けられた「レンブロック®」の由来や、インテリア素材として開発した経緯など伺いました。廃材の利用など異業種との連携に積極的に向き合う話が印象的です。

インフォメーションの一つ目は、前出した(株)三ツ星の滋賀工場を訪問して、電線事業において長年信頼を積み重ね、安全で効率的な現場作りに貢献している取組みについて紹介しています。特に通電状態のまま移動可能なキャブタイヤケーブルの製造を得意とし、今回のフロートケーブルの開発を契機に水回りの用途展開に注力したいと話しています。

二つ目は、「ユニボッチャ ロトロ」を開発した(株)三和製作所の取組みを紹介しています。現在は健康・安全・教育の3事業を軸として、特に子ども向け用具や教材などでは製造から流通まで一貫した体制づくりに興味深いものがあります。ものづくりにおいて子どもたちが安心して安全に遊べることを最も大事にし、ボッチャボールの開発ではボール表面の素材に耐久性があって水濡れや汚れに耐えられるPVCを採用したと話しています。

三つ目は、「バイオマスデスクマット」を開発した森松(株)の取組みを紹介しています。PVC等を扱う商社として創業し、現在は素材の提案・販売から、裁断、ウェルダー加工など幅広い対応を強みとして、サプライチェーンで信頼関係を構築していることがうかがえます。バイオマスデスクマットの開発もその一つの成果といえます。

“広報だより”の一つ目は、2022年1月22日に開催された「第148回上田学園コレクション2022」に、上田安子服飾専門学校がPVCnext(関西の塩ビ加工会社のグループ)と産学連携で参加したことを紹介しています。学生創作によるコレクションの一部として、「Black and White World」と「サステナブル」をテーマに白と黒の環境配慮型ポリエステル素材を使用し、PVCホログラムを組み合わせたデザインを発表しました。

二つ目は、日本空気入ビニール製品工業組合が2021年12月8日、9日に開催した「2022サマーアイテム&インフレーターブルグッズ展示会」について紹介しています。コロナ禍での開催でも両日で約630人の来場があり、空気入ビニール製品への関心の高さがうかがえました。

PVCニュースのご講読を希望される方は、下記メールアドレスまで、送付先・TEL・希望部数などをご連絡下さい。

[info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

## ■ 随想

### ◇知ってそうで知らないシロアリの話 ⑧

株式会社テオリアハウスクリニック 平 一暁

わたくし、(株)テオリアハウスクリニックの平 一暁（たいらかずあき）と申します。弊社は1974年に設立したシロアリの防除会社。「何でシロアリ屋がVECのメールマガジンに寄稿するんだ！」というお叱りの声が聞こえてきそうですが、文字スペースの問題もありますので、ご興味のある方はVECさんホームページの「塩ビと環境のメールマガジン配信中」という緑のマークをクリック頂いて、[2019年5月23日配信の①](#)が掲載されたバックナンバーをご覧頂けたら幸いです…（汗）

では今回は、シロアリの点検は床下を見るだけとは限りませんヨ！というお話を…

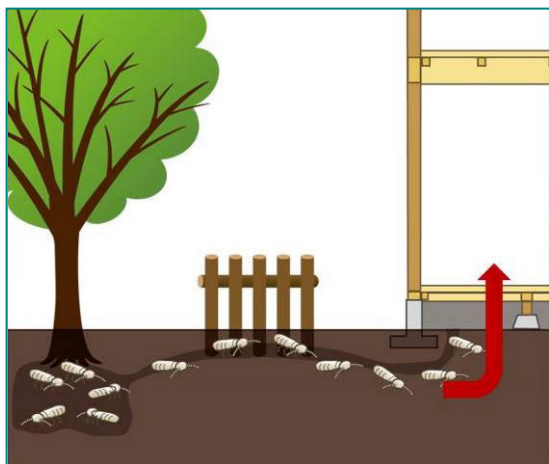
#### 基本的なシロアリの点検といえば…

ここまで様々なシロアリのお話をして参りましたが、まずは基本の復習です…(笑)

シロアリ自体は非常に弱い生き物で、直射日光など明るい場所に身をさらしたり、風のように空気が対流するような所に出ると、体内の水分が蒸発して干からびてしまい、死に直結してしまう。なので、シロアリが人目につくような所にノコノコ出てくる事はまず無いですし、家の木部を食害する場合は、薄暗くてあまり風が吹き込んで来ない床下から侵入して来る。コレが基本です。なので我々が点検する際は、まず床下に入ってシロアリ侵入の有無をチェックする訳です。ある意味、シロアリ点検＝床下といった図式が出来上がっていて、世間でもそれなりに認識されているようです。こんな狭くて薄暗い所によく入れますネ、なんて聞かれますが、弊社で細身の者だと、床高20cmを切るような所でも入っていきますヨ。私だって今も25cmあれば、しっかり床下点検できますからネ！…(汗)



10数年前に床下点検をしていた頃の私…(笑)



シロアリの侵入経路 家周りの木製品は中継基地に  
(出典：(株)テオリアハウスクリニック)

#### 家周りにもシロアリの気配はある！

とは言っても、我々は床下だけ見てればイイ、って訳でもないのです。土の中にはどこにでもシロアリは生息しているのですから、家周りや敷地内にもシロアリがそこにいた！という兆候が見られるのです。敷地内に積まれた廃材や枯木、花壇の木柵、生垣の杭、ウツデッキやラティス、それに敷地内に放置された古新聞、古雑誌、ダンボール…。そうそう、元々紙はパルプであって、さらにその前は木。シロアリにとって、こんな柔ら



かくて食べやすい加工食品は無いですからネ！紙類を筆頭に家の周囲にある木製品をチェックすると、結構シロアリの食べた跡があります。と言うか、普通にシロアリがいたりします。たとえ今は家にシロアリの被害や侵入が無くても、家の基礎から30cmの所で食べられた跡や実際にシロアリがいたら、近い将来どうなるか見当がつかますよネ…。



庭の枯木の中にいたシロアリ（写真左）

花壇用木柵のシロアリ被害は玄関ステップすぐ横（写真中央）

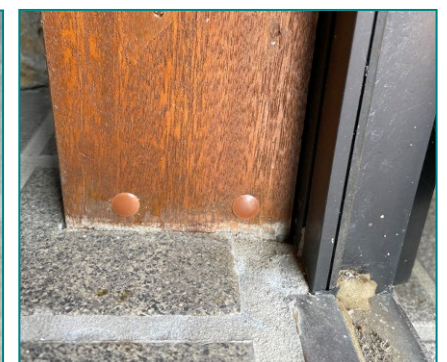
庭のウッドデッキに見られたシロアリ被害（写真右）

（出典：（株）テオリアハウスクリニック）

### 近隣のお宅でシロアリ防除施工の有無を見極める

更に私が点検に伺っていた頃は、近隣のお宅についても遠目にシロアリの食害状況をチェックしていました。ご依頼された方の敷地内は万全だとしても、お隣の敷地でシロアリが食べたであろう杭とかがあったら、敷地の内外の違いだけであって、たいして距離は変わりませんから…。シロアリからしたら、人間が作った敷地の境目なんて全然関係ないですし…(笑)

そうそう、ご近所さんの玄関の木枠の下の方に丸い木栓を打った跡が見えたら、ソレ、シロアリの防除施工を行った跡です。昔はそれこそ木製の栓を使っていましたが、最近はプラスチック製の物もあります。玄関の木枠って特にシロアリの被害に遭いやすい所なので、施工の際は小さな丸い穴を開けて、そこからシロアリの防除薬剤を流し込み、最後に丸い穴に木栓を打ち込む訳です。ご近所さん宅にシロアリ被害があって施工したのか、予防対策で行ったかはわからないにしても、周辺の家でそんな処理がなされていたという事は…ですヨ。駆除で行ったのだとしたら、その家に近づけなくなった土の中のシロアリは、今度はどこに向かうのか、という事なのです。「シロアリなんて、この地域では見た事も聞いた事も無い！」なんて、頑固な方から怒鳴られた事もありましたが、こんなお話をして、そんな箇所を指摘すると、頑固が貫けなくなっちゃたりしてました…(笑)



玄関の木枠に外からこんな木栓が見えたなら…（出典：（株）テオリアハウスクリニック）

## 迷惑なご近所さんもいるもので…

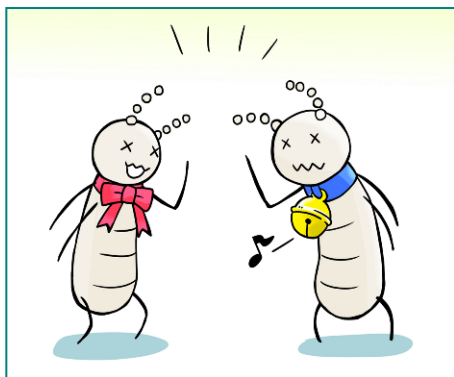
そんな事を知ってか知らずか、植栽の剪定した枝を山積みにしたままのお宅とか、日曜大工で余った廃材を長年に渡って放置して羽アリが飛ぶとか、なかなか古紙回収に出せなくて…と古雑誌に囲まれているお宅などなど…。「あのお宅、おかしいと思いませんか？絶対に変な事が起こると思うんですけど…！」お隣さんがこんな感じのお宅に伺うと、家の中でもヒソヒソ声で、でも怒りを押し殺した声で語られたものです。こんなケースのお宅の場合、心配しているのはシロアリなのですが、お客様の敵はシロアリじゃない。敵は、お隣さんなのです。



シロアリに食害された本  
(出典：(株)テオリアハウスクリニック)

## だからこそ、自分の家は自分で守らないと

ネコだったら鈴を付けていたり、姿形が違うので、「お宅のネコが毎日ココで糞尿をして困っているんです！」と証拠動画を突き付ける事も可能ですが、シロアリはねえ…。「お宅がそんな感じで家周りがだらしないから、お宅のシロアリがウチにも来たんだ！」と言った所で、鈴も付けていなければ、見た目も同じ。実際、過去に訴訟した方もいたそうですが、やって来たシロアリがお隣から来たとは断定できない。そもそも、あなたのお宅はシロアリの対策をしていたのですか？と敗訴したそうです。



シロアリが鈴を付けて移動している訳でもないし… (出典：(株)テオリアハウスクリニック)

ご近所に言いたい事は山ほどある！なんて方は、実はたくさんいらっしゃると思います。でもシロアリについて言えば、まずは自分の家をしっかり予防しておく事。ちゃんと対策を施していれば、とばっちりを食う、なんて事は無いですからネ。

「シロアリに喰われて泣くよりもまず予防」  
コレ、弊社の創業からのキャッチフレーズです…(汗)

## ■ 編集後記

VEC のホームページの環境特性のデータを一部更新しました(4月8日)。LCA手法を用いて塩ビ管と農業用フィルム(農ビ)の加工段階までの温室効果ガス(GHG)排出

量の算定結果などを掲載しています。参考にさせていただければと思います。

[https://www.vec.gr.jp/kankyo/kankyo1\\_1.html](https://www.vec.gr.jp/kankyo/kankyo1_1.html)

また、VEC の動画コンテンツのページに、「塩ビってなんだろう？ 二の巻」の動画を掲載しました。以下 URL よりご覧ください。

<https://www.vec.gr.jp/lib/lib5.html>

## ■ 関連リンク

- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601    ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <https://www.vec.gr.jp>    ■ E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)

---

---